

生 活

東 京 書 籍
大 日 本 図 書
学 校 図 書
教 育 出 版
信 州 教 育 出 版 社
光 村 図 書 出 版
啓 林 館

令和5年度

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	東京書籍（新編 あたらしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気付いている児童の姿が具体的に分かるように配慮されている。 ・写真やさし絵等によって、見つける、比べる等、多様な学習活動例を示し、気付きをもとに考えられるよう配慮されている。 ・自分のよさや可能性に気付き、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりできるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 幼児期の育ちを生かしながら教科の学びに接続できるように、他ページとは違うサイズでスタートカリキュラムが掲載されたり、上巻での学びを下巻で生かせるように内容構成されたり、安心して学習できるよう配慮されている。 (2) 身近な自然や地域の人々と関わって見つけたことを発信する等、地域への愛着を深められるように工夫されている。 (3) 気付きを確かなものとしたり、関連付けたりして、気付いたことを表現し交流する学習活動が掲載され、興味・関心・意欲を喚起し、伝え合う活動の充実が図られるよう工夫されている。 (4) 一人一人の活動や気付きを多様な方法で表現する活動が発達段階の特性に応じて進むよう、上巻と下巻で配慮がされている。 (5) 対象物と児童が一度に目に入る写真等で、活動への意欲や期待が高まるよう工夫されるとともに、もっと知りたい思いに応えられるように二次元コードが随所に配置される配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節の流れを軸に時系列で構成され、他教科とも関連付けながら資質・能力が段階的に高まるように配慮されている。 (2) 単元の中に生き物や遊びを紹介する図鑑、巻末に「かつどうべんりてちょう」が設けられており、児童が活動を広げたり深めたりしていくことができるよう配慮されている。 (3) 季節の変化に気づけるように定点の絵が設けられ、地域を繰り返し探検する活動を通して、空間的な認識が広がり社会的な見方・考え方の基礎につながっていく過程が分かるよう配慮されている。 (4) 学習の最後に振り返りが設けられ、気付きを確かなものとしたり、気付いたことを関連付けたりする表現活動や交流活動の中で、主体的・対話的で深い学びの姿が分かるよう配慮されている。 (5) 写真やさし絵を説明する言葉が簡潔で、小単元名や本文とともに、活動する上での安全・衛生面などの約束を掲載するといった工夫がされている。 (6) 植物の生長記録、交流活動、活動の振り返りなどでタブレットを利用している写真やさし絵があり、ICT機器を活用することができるように配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・気付きを確かなものにしたり関連付けたりする振り返りと表現活動が、さし絵や写真等で具体的に分かるよう示されている。 ・生活科での学びを他教科と関連付けながら資質・能力などが段階的に高まるよう配慮されている。

種目（生活）

<p>採択基準</p> <p>発行者名</p>	<p>大日本図書（新版 たのしいせいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の具体的な活動や体験から、学校生活や、友だち・身の回りの人との関わり方、生き物や四季の自然にふれる学習活動を展開するよう配慮されている。 ・児童が共感したり自分で考えられたりするように表記されていて、問いや自分の考え、思考力を育みながら学習が展開していくよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを設けて、園の生活の中で経験してきた事や培ってきた学びをもとに、入学式からつながる学校生活への期待を高めることができるよう工夫されている。 (2) 四季の中で、身近な人や自然、社会と関わるような活動につながるよう配慮されている。 (3) A4判の紙面で、動植物や子どもの写真、吹き出しや挿し絵が配置され、児童の気付きや意識の流れなど、活動の見通しがもてるよう工夫されている。 (4) モノクロのページでは、色や匂いなどイメージを膨らませるよう感覚を刺激し学習意欲を高められるよう工夫されている。 (5) 生活科の活動が、学びや生活に活かされる場面を取り上げ、自分の生活を豊かにしようとする資質・能力を育成するよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元配列は季節に沿った構成で、自然の変化や動植物の成長など時間経過とともに観察や活動を進め、地域の特色や学校行事との関連を図りながら活動するよう工夫されている。 (2) 動植物の飼育栽培活動を通して、命を大切にすることや相手の立場になって考える心などが育まれるよう配慮されている。 (3) 活動内容は見開きごとになり、挿絵や吹き出しなどからヒントを得ながら、児童の気付きにつながるよう工夫されている。 (4) QRコードを使って、ウェブ上の写真や映像等の資料が準備され、調べ学習の活動につながるよう工夫されている。 (5) 自分なりのめあてや振り返りを書き込んだり、「きもちまーく」に自分の気持ちを記録したりすることで、活動を通して満足感や成就感をもちながら、学習を進めることができるよう工夫されている。 (6) 諸感覚を活用した活動や体験の中で、児童が対象に触れることで学び、他者との関わりの中で思考を深めることができるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動の好奇心をきっかけに、活動や体験を重視して、実感を伴った理解に導くよう配慮されている。 ・児童の体験や活動を、伝え合い交流する場面が取り上げられていて、個人の学びを集団で高め合うよう配慮されている。 ・自分の気持ちをマークで表したり、思いを言語化したりすることで、自分から課題に取り組めるよう配慮されている。

種目（生活）

<p>採択基準</p> <p>発行者名</p>	<p>学校図書（みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を各種コーナーで学習できるよう工夫されている。 ・ 各单元において自己決定の場面を大事にしており、主体的に活動していく中で、自分や自身の生活について考えられるよう配慮されている。 ・ 振り返りの場面を大切にし、自分のよさや成長に気づいたり、自己肯定感が高まったりするよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを位置付け、活動や体験の場が、1学年では学校の周辺、2学年では地域へと発達に応じて広がるよう配慮されている。 (2) 児童の言葉をもとにしたリード文と活動の楽しさを伝える写真やイラスト、吹き出し等が、児童の興味・関心・意欲を引き出すよう工夫されている。 (3) 4人のキャラクターが登場し、友だちや周りに関わり合いながら成長していく姿を明確にし、子どもたちが成長していく道筋が見えるよう工夫されている。 (4) 「ものしりのうと」や「まなびかたずかん」が充実しており、児童が自分で活動を広げていけるよう配慮されている。 (5) 表記、表現は児童の発達段階を考慮し、児童の負担にならないよう配慮されている。また、日々の授業でもっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードを掲載するよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 探検、栽培、飼育、遊び、成長の五つの大単元で構成され、他教科と関連させて学習が進められるよう配慮されている。 (2) 素材や教材が複数提示され、地域や学校、児童の興味・関心に応じ、選択して繰り返し扱えるよう配慮されている。 (3) 公共施設の利用方法や公共のマナーが、イラストや写真で示されている。子どもたちが地域・社会の一員と感じ、より良く社会のために行動をしていけるように配慮されている。 (4) 4人のキャラクターによる様々な交流場面が示されており、児童が伝え合ったり、交流したりする活動のヒントとなるよう配慮されている。 (5) 児童の目線からの写真が使用され、児童の活動意欲を引き出すとともに、児童が活動内容や活動の流れを見通せるよう工夫されている。 (6) 具体的な活動の場面ごとに、学習の振り返りの参考となる学習カードが例示され、活動を振り返りながら自己の成長を自覚できるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真とイラストで学び方の道筋がわかりやすく示されている。 ・ 「ものしりのうと」や「まなびかたずかん」が充実しており、児童がさらに調べたり、活動を発展させたりしていくことができるように配慮されている。

種目（生活）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（せいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科で育む資質・能力の「学び方」や、自分らしさを大切にする等の多様性のある学び方を、とらえやすくできるよう工夫されている。 ・単元の継続性やつながりを「はっけんロード」として示しながら学習が展開され、キャラクターの言葉や動きで、自分の学びや考えを深めていくよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1)各単元のとびらには、児童の思いや願いを言語化する「わくわくスイッチ」を設定し、児童の多様な思いや願いを言葉にしなが、期待感をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 (2)児童から引き出したい「六つの力」（気づく、自分でできる、考える、伝える、挑戦する、自信をもつ）を抽出して、学習活動のポイントを示しながら活動に取り組めるよう工夫されている。 (3)巻末の「学びのポケット」を活用し、生活を豊かにしていくための資質・能力を身につけられるよう配慮されている。 (4)児童の気づきを促すような写真・イラスト・吹き出しがあり、児童の学習活動への気づきになるよう工夫されている。 (5)QRコードを使って、学習の振り返りや発展学習などができるワークシートがあり、選択・調整して習得するよう工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1)スタートカリキュラムとして、幼児期からの学びと小学校教育がつながるよう配慮されている。 (2)各単元のとびらにインデックスがあり、1年間の学習の見通しをもてるよう配慮されている。 (3)各見開きページにある「ひと」のコーナーに、何をどのように学ぶか、何ができるようになるか等につながる提示があり、知識や技能習得につながるよう工夫されている。 (4)巻末の「学びのポケット」では、他教科との関連的指導の目安となり、衛生面、安全面、生活科として身につけたい知識や技能につながるよう工夫されている。 (5)季節に応じて、自然の変化や動植物の成長など時間経過とともに継続的な活動を進めたり、地域の特色や学校行事との関連を図りながら活動できたりするよう工夫されている。 (6)単元末には、学習のまとめが例示されていたり、振り返りの書き込み欄や、到達度を書き入れる欄があったりする等、自己評価につながるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入時の動機付けを明確にして、児童がめあてをもって主体的に学びに向かえるよう工夫されている。 ・学びにつながる学習のヒント・約束のコーナー・QRコード等、個別の学びを促したり、発達段階や他教科と関連付けたりする学習ができるよう配慮されている。

種目（生活）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">信州教育出版社（せいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に生まれ、地域に育つ子どもが、その地域ならではの具体的な活動や体験を通して、社会事象、自然事象、自分自身について気付けるように配慮されている。 ・動植物との息の長い体験活動や四季を通じた直接体験の中で、自らが主体的に対象へ働きかけ、働き返しをもとに思考・判断・表現しながら命のドラマを体験できるよう配慮されている。 ・子どもの願いを大切にした活動の端緒や追究過程、また自分の生活や成長が自覚できるような振り返りの場面を大切にしている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学直後の児童が安心感をもてるようにスタートカリキュラムのページを掲載して、発達段階に応じて、児童の興味関心が広がり深まっていくように配慮されている。 (2) 身近な地域の人、もの、ことや動植物に、2年間を通して繰り返し働きかけることのできる構成となっており、対象への思いを深め、より深い学びにつながるように配慮されている。 (3) 「感動体験」「探究活動」「表現活動」が多様に示されており、より深い学びにつながる友だち同士の学び合いや情報交換の場が位置付くよう配慮されている。 (4) 活動の端緒や学びを表情豊かな写真、吹き出しやさし絵で示し、活動が広まったり深まったりするように配慮されている。 (5) 観音開きページの使用、児童の意識に沿った本文、吹き出し、対話等により、児童の思考が深められるように配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童にとって身近な地域にある豊かな自然や日常的な事象を取り上げた単元構成となっており、他教科、総合的な学習の時間と関連づけられるように配慮されている。 (2) 活動にストーリー性のある紙面構成となっており、児童が願いを持ち、友達や家族、地域の人々とかかわりながら学習を進めていけるように配慮されている。 (3) 地域の野山や川といった自然の中で四季を通して活動する様子がさし絵や写真、吹き出しで表され、児童が興味関心を持ち、自分も「やってみたい」と思えるよう配慮されている。 (4) 動植物と関わる息の長い活動では、対象に思いを寄せながら自己決定したり、友だちと力を合わせて活動するよさを感じたりできるように配慮されている。 (5) 県内の学校の実践をもとにした、学習やさし絵、文章、作品が多く掲載され、伝統的な行事などの地域性や季節感を感じられる親しみやすい構成となるように工夫されている。 (6) 振り返りの場を大切にし、動植物や家族や地域とのかかわりが深まり、自分の学びや成長を自覚できるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に育つ児童の願いから活動が立ち上がるように工夫され、自ら課題をもって学習できる展開になるよう配慮されている。 ・長野県内のそれぞれの地域の特色を生かした体験活動が豊富に掲載されており、多様な学習ができるように配慮されている。

種目（生活）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>光村図書出版（せいかつ たんけんたい）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が身近な人々、自然、社会と関わる中で対象の特徴やよさや楽しさを感じられるよう配慮されている。 ・対象と関わったり、試行錯誤したりしながら、思いや願いを実現しようとする姿を写真やイラストで分かるよう配慮されている。 ・多様な児童の存在を肯定し、一人ひとりが自分なりの思いや願いをもちながら学んでいけるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童が自信をもって学校生活を始めることができるようにスタートとカリキュラムを位置づけ、言葉や文章も発達段階に考慮した表現で書かれており、活動意欲がもてるよう配慮されている。 (2) 表情豊かな子どもの写真やイラストが掲載されており、子どもの意欲が喚起されるよう配慮されている。 (3) 写真には学習環境や記録等の様子が盛り込まれており、子どもの意欲を喚起するとともに、まとめ方の参考にもなるよう配慮されている。 (4) 「こんなこともあるかもね」「どうしてだろう なんてだろう」のコーナーには児童が活動するときの思ったり感じたりしていることがイラストで掲載されており、自分らしく学ぶことのよさに気づくことができるよう工夫されている。 (5) 単元名や各ページの見出しが、児童の言葉で表現され、興味・関心を引き出せるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学びを深めるヒントが示され、児童が繰り返し対象に関わり、試行錯誤しながら学んでいけるよう配慮されている。 (2) 「ふりかえろう」がすべての小単元に位置付けられており、活動中の出来事を、3つの視点から確かめられるよう配慮されている。 (3) 活動の流れに沿った本編の最後に、関連する資料を充実させた「ひろがる せいかつじてん」が掲載されている。学びや授業の進み方に合わせて活用できるよう配慮されている。 (4) ICT機器の活用例が意図的・計画的に位置づけられている。上巻では写真の記録などシンプルな例を中心に、下巻では発表・プレゼンなど、目的に応じた多様な活用例が提示され、子どもたちの発達段階に応じて活用できるよう配慮されている。 (5) 内容に即した多様なイラストや写真が掲載されているとともに、注意が必要な学習内容には、二次元コードを配置する配慮がなされている。 (6) 「保護者の皆様へ」という呼びかけを通して、児童の活動に対する理解や協力のお願いがなされるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な価値観で考えたり学びを深めたりしている児童の姿が、ユニークな文章と絵で表現されている。多様な児童の存在を肯定し、一人ひとりが自分なりの思いや願いをもちながら学んでいけるよう配慮されている。

種目（生活）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">啓林館（せいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて、表現活動等を系統的に構成するなど、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。 ・児童の気づき、思いや願いが次の活動につながるように、「めくり言葉」を設定し、活動が連続して進められるよう工夫されている。 ・児童の姿が、写真やイラスト、吹き出しで示されるなど、児童の気づきが伝わるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを位置付け、幼児期に育まれた資質・能力を大切にしながら、安心して学校生活が始められるよう配慮されている。 (2) 児童の思いや願いを高める活動例や学習対象が紹介されており、学校や児童の実態に合わせて取り組めるよう工夫されている。 (3) 「学びのヒント」では、学習に必要な基礎知識や学び方のポイントを掲載し、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 (4) 「こんなときどうしよう」のコーナーでは、単元の学習で予想される課題が示され、クラスでの話し合い活動で活用できるよう工夫されている。 (5) 興味・関心を喚起する写真やイラストで、変化や作り方を示したり、もっと知りたいことに応えられる場所に、二次元コードを掲載したりする工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節に沿って単元が構成されており、生活科の学習と他教科との関連を踏まえながら活動が広がり、深まっていくよう配列が工夫されている。 (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現できるよう配慮されている。 (3) 「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動や、試行錯誤したり繰り返したりして何度も対象と関わる学習活動が位置付けられている。 (3) グループで考えたり話し合ったりする活動の様子が具体的に示されており、協働的な学習を通して気づきの質が高まるよう配慮されている。 (4) 言葉、絵、動作、劇化、ICT活用など、児童の表現活動や交流活動への興味・関心を引き出すような工夫がされている。 (6) 「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果を振り返り、自らの成長や学びの深まりが実感できるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元は「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、活動が発展し、深まっていくよう工夫されている。 ・児童の生活圏が学習の対象や場として設定されており、児童が身近な環境に直接働きかける学習活動が行えるよう配慮されている。